

【資料1】 恵庭市におけるICT教育

恵庭市における ICT教育推進について

H30.10.29 総合教育会議資料(案)

1

ICT環境整備

参考: 第2期教育振興基本計画で
目標とされている環境イメージ

- ①超高速インターネット接続率及び無線LAN整備率 100%
- ②コンピュータ教室(40台)及び設置場所を限定しない可動式コンピュータ(40台)
- ③各普通教室 電子黒板1台
- ④ICT支援員

2

①超高速インターネット接続率及び 無線LAN整備率 100%



平成27年度
・市内全小中学校 無線LAN整備

②コンピュータ教室(40台)及び 設置場所を限定しない可動式コンピュータ(40台)



※コンピュータ教室のPCをタブレットで整備することで可動に対応
H26:恵み野小・松恵小、H27:恵み野旭小、H28:若草小、
H29:和光小・島松小、H30:柏小・恵庭中
H31～整備予定:柏陽中・恵明中・恵み野中・恵北中・恵庭小

3

③各普通教室 電子黒板1台



③H28:恵み野旭小・恵み野中、H29:恵庭小・恵庭中・柏陽中、
H30:島松小・柏小・恵み野小・恵明中
H31～整備予定:和光小・松恵小・若草小・恵北中
※平成31年度で市内全小中学校整備完了予定

④ICT支援員



④平成28年度より1名配置
恵庭小学校を拠点校として市内13校を巡回
ICT機器の活用等をサポート

4

恵み野旭小学校の ICT教育

5

環境整備

- 電子黒板導入モデル校として活用法を研究
 - 中心となる教師が研修会を実施
「苦手な先生でも、できることから。」
 - 校内向け実践事例集を作成
「真似をするだけで、始められる。」
- タブレットPCの整備
 - 学校配分予算で40台を追加整備(PC教室分と合わせ計80台)

6

プログラミング教育（5年生の授業・一例）

【総合「学校の好きな場所を紹介しよう」5時間扱い】

1～2時間目 PC教室で作業（個人）

- ・ロボットについて基本的なことを学ぶ
- ・簡単なプログラミングを作成

3～5時間目 教室で作業（2人1組）

- ・学校の好きな場所を考え、プログラミングする
- ・発表会

7

プログラミング教育実施にあたって

- ・担当の先生が中心となって、全クラスへPepperを巡回
→ 児童に対し授業への期待感を持たせる
- ・ICT支援員の活用
→ プログラミング教育に役立つ情報の提供
実現したい授業内容の相談、準備の補助

8